皮膚科

【1】研修プログラムの目的と特徴

皮膚科研修では、間近に多くの患者と接する機会があり、さまざまな症例を経験することができる。

それを通して一般診療に必要な皮膚科診断学・治療学・外科学、基礎的な皮膚病理学などの知識の習得および実践を目指す。また、皮膚科医による専門的加療の必要性について適切に判断できるようにする。

【2】一般目標：GIO(General Instructional Objective)

外来や入院診療などを通して一般診療に求められる皮膚科領域の診断、治療技術の習得を目標とする。

【3】行動目標：SBOs（Specific Behavioral Objectives）

1. 皮膚の構造と機能について理解する。【知識】
2. 皮膚病変を皮膚科診断学用語により正確に表現する。【知識】
3. 皮膚科臨床写真を適切に撮影できる。【技能】
4. 硝子圧法、皮膚描記症、Dermoscopyを理解し、施行することができる。【技能】
5. 真菌検査を施行し、白癬、カンジダ、癜風を診断し、適切な加療を行うことができる。【技能】
6. 紫外線療法、液体窒素凍結療法、ピンセットによる軟属腫除去、鶏眼・胼胝処置を施行できる。【技能】
7. 当院皮膚科で用いている外用剤、内服薬の種類、効果、副作用、適応を理解し、使用する。【技能】
8. 乾燥肌あるいは脂性肌の患者に対し、適正なスキンケアを指導できる。【技能・態度】
9. アトピー性皮膚炎の診断基準を理解し、実際の症例で適切に診断、治療できる。【技能・態度】
10. 蕁麻疹の重症度を理解し、症状に併せた治療法が選択できる。【技能】
11. 薬疹において原因薬剤の特定方法について理解し、その結果について説明できる。【技能・態度】
12. 結節性紅斑、多形滲出性紅斑を鑑別し、それぞれの原因疾患、治療法を列挙できる。【技能】
13. 乾癬、類乾癬、掌蹠膿疱症の皮疹の特徴を列挙し、それぞれの治療法を説明する。【技能】
14. 天疱瘡、類天疱瘡の臨床的、検査上、病理などの鑑別点を述べ、適切な治療を選択できる。【技能】
15. 全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、強皮症、シェーグレン病、ベーチェット病などの皮膚所見と鑑別診断を述べる。【技能・態度】
16. サルコイドーシスの皮膚所見、病理所見、治療法を述べる。【技能】
17. 熱傷の深さによる分類を理解し、実際の症例で評価する。【技能】
18. 熱傷の局所療法を病状にあわせて選択し、施行できる。【技能】
19. 褥瘡の深度による分類を理解し、実際の症例で評価する。【技能】
20. 褥瘡の加療および、その予防方法について説明できる。【技能・態度】
21. 単純性疱疹の病態と、治療法を患者に説明できる。【技能・態度】
22. 帯状疱疹の病勢と重症度を評価し、適切な対応ができる。【技能・態度】
23. 麻疹、風疹、伝染性紅斑などの皮膚症状、鑑別点、合併症を列挙する。【技能】
24. 尋常性ざ瘡の病態、個々の症例にあわせた治療方針を患者に対して説明できる。【技能・態度】
25. 足・爪白癬の治療法と、それぞれの短所、長所などを述べる。【技能】
26. 疥癬やシラミそれぞれの皮膚症状、診断方法、治療法を述べる。【技能】
27. 内臓悪性腫瘍に伴う、皮膚症状を列挙する。【知識】
28. 代表的な、皮膚腫瘍や炎症性疾患の病理組織所見を述べる。【知識】
29. Dermoscopyによる悪性黒色腫と色素性母斑の鑑別の要点を列挙する。【知識】
30. 基本的な外科的手技（縫合や切開など）を施行できる。【技能】

磐井病院臨床研修プログラム 2017～2018

【4】方略(Learning Strategies)

LS	方法	SBOs	実施場所	媒体	人的資源	時間	時期
1	ミニレクチャー	1～30	図書館など	PC プレゼン，電子カルテ、テキスト類	研修医，指導医	1 時間	適宜
2	自己学習	1～30	自宅、病棟	テキスト類	研修医，指導医	1 時間	適宜
3	病 棟・外来研修	1～30	病棟、外来	患者，スタッフ 臨床研修、実技	研修医，指導医，看護師，看護学生	適宜	毎日

【5】教育評価(Educational Evaluation)

SBOs	目的	対象	測定者	時期	方法
1～30	形成的	知識，解釈，技能	指導医･看護師	研修終了時	評価表
1～30	形成的	問題解決，技能	指導医	研修終了時	経過観察

【6】教育に関する行事　1 か月の救急ローテーション時

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14;00	15:00	16:00	17;00	18:00
月	病棟、外来診療						検査、手術など				
火	病棟、外来診療						病棟診療		ミニレクチャーなど		
水	病棟、外来診療						検査、手術など				
木	病棟、外来診療						学生外来				
金	病棟、外来診療						病棟診療　褥瘡回診				

【7】研修内容･方法

通常は皮膚科外来・病棟・手術室などで患者の診療（ベッドサイド研修）を行う。
ミニレクチャーや個別の症例検討についても適宜行う。
指導医の指導のもとに、診察・検査・治療・説明などを行う。

【8】指導責任者

指導責任者:濱端　明海

指導医名	役職	卒業年	主な資格など	臨床研修指導医
濱端　明海（はまばたあけみ）	皮膚科長	2010 年		

【9】2016 年実績

有棘細胞癌	17	1日平均外来患者数	33.3
悪性黒色腫	12	1日平均入院患者数	1.2
その他の皮膚がん(基底細胞癌･Paget病など)	9		
手術件数(内訳)			
皮下腫瘍摘出術	1		
皮膚腫瘍摘出術	1		
分層植皮術	1		

【改訂履歴】

2014.1　作成　中川倫代
2015.12　濱端　明海　改訂